



七区の自治会・地区社協合同 秋季防災訓練を見学 安否確認から救出搬送訓練までを実施

9月10日(日)に開催された【自治会七区・七区地区社協合同 秋期防災訓練】に大上地区社会福祉協議会の理事・会員が見学参加しました。大上7区内各家庭から一時避難場所のゆめ公園で実施。

この見学は、地区社協理事会議題の「今年の防災訓練」は、自治会は各区開催で『全体訓練は無し』で報告を受けた。席上7区の青理事(副会長)から、七区の自治会役員と地区社協の理事は、今までの『安否確認』は地区社協、『救出搬送』は自治会。と別々の防災訓練を反省し、今年の防災訓練は災害発生時の対応を大きく改善して『安否確認+救出搬送』の流れで訓練を実施するとの報告があり、7区の吉江区長に見学を申し入れし、オープン参加となったものです。

当日は震度5弱以上の想定で、①自身の安全確保 ②社協の安否確認(安全:黄リボン、不在:青リボン、被災:赤リボン) ③救出搬送要請(救出班出動) ④現地救出(毛布の担架作り・担架と救援者の安全確認) ⑤救護所へ。併せて、ゆめ公園で待機する防災長へ確認結果を報告する場面まで見学ができました。スムーズな進行で90分程で終了でした。見学した会員は「駆け足で見て回りましたが、あつという間の訓練でした。地域の人々に確かな安全・安心を届けたと思いました。」と語っていました。



安否を確認をし、リボンをつける



竹と毛布で担架作り



確認結果を防災長に報告



担架で搬送

今井大上地区社協会長からのコメントは次の通りです。

【地域の人々への安全・安心は自分自身が行事に参加すること。そして地域には自治会をはじめ各種団体が存在し共同体となり連携する事で大きな効果になる事が判った良い事例であった。他地区にもこのような活動が波及することを切に願う。そして求められる社協でありたいものです。】

今年の夏休みも学校とつながる

北の台中学校 “夜間パトロール”



校区内をパトロール

北の台中学校PTAは、校区の大上、蓼川、寺尾北地区内の夜間パトロールを毎年実施していますが、今夏も大上地区社協と青少年健全育成会の協力を得て

8月28日(月)の午後6時30分から校区の4つのコースで約1時間にわたって実施されました。

大上地区は、①クリエイトからと、②北の台中学裏門からの2つのコースを巡回しました。各班には先生とPTA役員を中心に、協力団体の方々を加わりコースをパトロールしました。地区社協会員は両コースで15名の参加でした。

綾北小学校 “花壇の水やり”

綾北小学校は、従来から”花いっぱい”のテーマで花壇整備がされていますが、「今年はグラウンド側及び北側を除き、中庭の花壇を重点的に水まきしてほしい。」という依頼で7月22日から8月27日までの夏休みの対象日に朝7時、夕5時を目安として水やりを実施しました。

今年は異常気象で、思わぬ豪雨に見舞われたり

東京では8月に入って連続20日の雨マークと言われていましたが、例年水やりに参加している会員は様子を見に来て、ホースやジョーロで水を補っていました。



水やりをする会員